

自殺対策推進部会事前アンケート回答結果まとめ

別紙2

1. 自殺予防週間や自殺対策強化月間で、啓発等を実施していますか。

実施している 6 回答 実施していない 9 回答

2. こころの健康センターで自死遺族相談を実施していることを知っていますか。

知っている 13 回答 知らない 2 回答

3. 各所属における自殺対策にかかる取組を教えてください。(記載内容抜粋)

三重産業保健総合支援センター

三重産業保健総合支援センター産業保健研修会の産業医向け研修において、こころの健康センター所長から、「自殺関連行動への対応と自殺後の対応」と題した講演を行って頂いている。
また、こころの健康センターから、研修会等の案内があった場合には、当センターHPに掲載する等により周知に協力しています。

三重労働局労働基準部健康安全課

メンタルヘルス不調による健康障害を防止するため、ストレスチェック対策の取組が各事業場で適切に実施されるよう指導を行っています。

三重県保健所長会

- ・管内高等学校、看護専門学校へポケットティッシュ、チラシの配布(長期休暇前)。
- ・保健所窓口にて啓発物品の配布。
- ・管内高等学校の文化祭において啓発物品の配布。
- ・こころと身体の健康づくり講演会の実施。

三重弁護士会

- ・「暮らしとこころの相談会」(無料電話相談)
- ・随時、法律相談を受け付けております。

三重県警察本部生活安全部人身安全対策課

- ・悪質金融業者への指導及び取締り
- ・自殺企図者に対する発見活動の実施
- ・インターネット上の自殺予告事案に対する迅速・的確な対処

三重県市町保健師協議会(津市)

- ・妊婦相談、公認心理士によるこころの相談(年3回)、産婦訪問時に自己尊重トレーニングのパンフレットで産後うつ予防啓発を実施。
- ・地域の健康教室(小、中学生、高等学校、地域のサロン等の機会を通じて、こころの健康、閉じこもり予防等について啓発を実施。
- ・こころの健康に関する講演会の開催。
- ・ケアマネ、市職員に向け、メンタルヘルス研修会を実施。(メンタルパートナー(ゲートキーパー)養成講座として実施。)
- ・働く世代を対象にした研修会の開催。
- ・自殺対策計画を策定しているため、計画推進のための庁内会議やネットワーク会議を開催。

三重県看護協会

○自殺未遂者支援向上研修
三重県の委託事業で、看護職を対象に1回/年 実施

三重県薬剤師会

メンタルヘルス対策として「自殺予防と薬剤師のかかわり」と題した研修会等を開催した。また、「過量服薬、自殺予防対策への取り組みー薬剤師に出来ることー」、開局薬剤師と病院薬剤師が連携して、「精神疾患の薬物療法」、「向精神薬を含む院外処方せんへの対応について～開局薬剤師の立場から～」、「精神科薬物療法へのアプローチ～病院薬剤師の視点から～」をテーマにシンポジウム等を開催することにより、薬剤師に向けて自殺対策の知識の向上と啓蒙に努めるとともに自殺につながる可能性の高い過量服用予防のための服薬コンプライアンス向上のための指導に努めるよう依頼した。

また、学校薬剤師に対しては、各学校においてオーバードーズ対策を中心としたお薬教室の開催を指示している。

三重いのちの電話協会

いのちの電話として通常電話：毎日18時～23時の5時間年中無休で、毎月フリーダイヤル：毎月10日8時から翌日8時の24時間を実施し、自殺をはじめとする様々な悩みごとに電話を通じて対話することにより、生きる勇気をお持ちいただけるよう支援しています。

通常電話： 059-221-2525
ナビダイヤル： 0570-783-556(毎日10時～22時)
フリーダイヤル： 0120-783-556

三重県教育委員会事務局研修企画・支援課教育相談班

- ・24時間体制のいじめ電話相談や、多言語でも相談できる「子どもSNS相談みえ」を実施。必要に応じ、関係機関と連携して対応しています。
- ・子どもの心の問題の解決に向けて、専門的な教育相談を実施しています。
- ・学校等の教育相談体制の充実に向けて、教育相談に係る研修講座を実施したり、校内研修やケース会議に臨床心理士を派遣するなど、教職員を心理臨床の視点から支援しています。

三重県臨床心理士会

【自死リスクの高い対象への直接援助と、地域支援のための研修事業】

支援対象の自死リスクをアセスメントし、適切な支援体制を構築したり、支援者自身が直接対象を支援するにあたっては、高い専門性が必要とされる。また、特定の個人へと心理的負担が集中する社会的な構造に関しても深い理解が必要である。最前線の実践報告から最新の知見を抽出し、各職場へと広く還元していくことを目的に、会員を対象とした研修を年2回程度開催している。

三重県精神科病院会(三重県こころの医療センター)

- ・病院連携として、オーバードーズ患者の受け入れをしている。
- ・YMSC-MIEにおいて、自傷・自殺に関する相談も受け入れている。
- ・希死念慮の強い若年世代を、専用病棟で受け入れをしている。
- ・県からの委託を受けて、自殺関連についての学校からの相談に職員を派遣している。